



Q: 通訳者の仕事とは?

2 言語間の橋渡しをするのが通訳者です。大抵通訳者はトレーニングを受けており、様々な分野での経験を積んでいます。しかしながら、これだけで通訳者はそれら分野での専門家になれるわけではありませんが、通訳業務に当たる前に資料を読み込むことで自らをトレーニングすることができます。通訳者とクライアントは2ステップを踏むことになります。

通訳業務前: 優れた技術、様々な経験を持ち合わせていても、通訳者にとって通訳業務に就く前に資料やスピーチに目を通すことはとても重要です。目を通すというのは、特殊用語、企業又は業界特有用語などを含む用語になれること、概念の理解などです。この時点で通訳者から不明な点の説明や質問などが出てくる場合があります。その際には、それにかんしてお答え頂ければ幸いです。

通訳中: 通訳者はかなり集中して通訳をしています。話を聞き、通訳し、又話を聞く、このステップに集中しているわけです。ですから、通訳の妨げにならないように、通訳中は通訳者にメモを渡したり、他の方と話をしたりなどされないようお願い致します。

Q: 通訳方法の決め方は?

これには、たくさんの情報が必要です。情報はあればあるほど、決めやすくなります。例えば、1日の会議で、10のプレゼンテーションがある場合、同時通訳が良いでしょう。しかし、製品の売り込みで5分や10分程度のプレゼンテーションをし、その後質疑応答をする時間を取りたいといった場合、逐次通訳が良いでしょう。ただし、逐次通訳の場合、スピーカーと同じだけの時間を取るということを忘れないで下さい。しかしながら、これを訳方法の決め手とするのは危険です。プレゼンテーションを早く終わらせたいがために逐次通訳を使わず、結局ビジネスチャンスを逃してしまったとなっては元も子もありません。どの通訳方法が良いか分からない場合は、お気軽に弊社までお尋ね下さい。



Q: 同時通訳やウィスパリングでは何故通訳者が二人必要なのですか?

通訳者はスピーカーが話すと同時に話します。テレビやラジオを聴きながら体験できます。スピーカーについていくことができますか?一字一句間違えることなく言えますか?通訳者は、このプロセスを踏んでいるだけではなく、知識、目を通した資料を使いながら通訳をしているのです。長期戦になれば、それ程疲労度が増します。通訳者は交代しながら通訳をするため二人必要なのです。殆どの場合、15分から20分で交代します。こうすることで、自分の番が回ってくるまでの間少し休憩しながら、次の番の準備をします。内容がハイレベルのような時には、二人以上通訳者を必要とするときもあります。

通訳者にやさしい通訳現場

熱の入った議論や多数が参加する会議になると休憩を取らない場合や時にはお昼を抜くようなこともあります。これでは通訳者は質の高い、正確な通訳を続けることはできません。つまるところ、通訳者も人間です。通訳者には休憩そしてエネルギー源となる食事を取る時間を与えるようにして下さい。通訳者にとって、休憩を要求するのは難しいものです。ですから、スケジュールの中に休憩も入れておいて下さい。また、コップ一杯、ボトル一本のお水を用意していただくと、大変助かります。

